

～緊急時の通訳ガイドとしての対応から医療通訳士という仕事～

7月18日（土）（一社）日本観光通訳協会（JGA）第三支部研修レポート

先日7月18日（土）に大阪大学（吹田キャンパス）人間科学科 本館5階 51講義室で、開催されました医療通訳士協議会（JAMI）総会・シンポジウム、また引き続き行われました、JAMI、JGAコラボ分科会、情報交換会に協働参加させていただく形でのJGA医療通訳研修を開催させていただきましたところ、いまだ台風の影響下、被害、交通の乱れが報道される中にも関わりませず、JGA側からは20名の方々にご参加いただきました。

シンポジウムでは、中村安秀先生（JAMI会長）、南谷かおり先生（JAMI理事）に司会進行をいただき

「医療通訳サービスへの関心の高まり」

「大阪大学中之島センター医療通訳コースについて」

「医療通訳者から見た現場の課題」を、

また、分科会におきましては、JAMI、JGA協働企画として、

「通訳案内士が知っておきたい医療通訳のいろは」業務中お客様が怪我？急病？体調が急変？ 緊急時の通訳ガイドとしての対応から医療通訳士という仕事 等について、学ばせていただきました。

遠くは広島県、岡山県、愛知県から、近郊からご参加いただいた方々も、皆さま、雨にも負けず、風にも負けず、JRはじめ各交通機関が、運転見合わせや遅延等で、大変な中を押して駆けつけていただき、貴重な学びのひと時をご一緒させていただきましたことを心から感謝いたします。

また折角お申し込みをいただきながら、天候等の事情から、ご参加がかないませんでした皆様には、心からお見舞い申し上げます。これからも引き続きJGAの活動にご理解とご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。（第三支部）